

シーン - 7 森林吸収オフセット推進事業

目的

森林整備による二酸化炭素吸収量をクレジットとして可視化し、取引を行う「カーボン・オフセット」を定着・拡大させるため、クレジットの取得と取引・流通の基盤づくりを進め、企業や団体等が広く制度を活用できる環境整備を行います。

事業効果

CO₂年削減効果

-

事業内容

H25事業費:1,290千円

クレジットの取得

【対象森林】県営林のうち、スギ・ヒノキ等人工林

【対象行為】森林整備(間伐)

【取得までの流れ】

プロジェクト登録～モニタリング調査～クレジットの発行

クレジットの取引・流通

【流通先等】二酸化炭素を排出削減に取り組む企業，団体ほか

[企業のCSR活動や，エコイベント等に流通]

【収益活用】流通収益は新たな森林整備などに活用

取組の普及促進

【取組内容】説明会やマッチングイベント等を通じた取組の普及，ネットワークの構築

カーボンオフセットとは？

地球温暖化防止のためには、二酸化炭素排出量の削減が重要ですが、企業・団体等が直接行う取組みには限界があるため、事業活動やイベントなどで排出する分を、森林整備やクリーンエネルギー利用等、二酸化炭素削減効果のある事業に投資することで相殺（オフセット）することをカーボンオフセットと呼びます。

税導入後のイメージ



県民参加型の森林づくり活動の拡大



社会全体で森林整備と二酸化炭素削減を支える仕組みづくり

公有林の整備の推進・健全な森林の増加による地球温暖化防止の促進



オフセット・クレジット制度の定着による企業のCSR活動や環境保全活動の拡大，エコイベントの増加

